

令和3年11月5日

松山記念病院

令和3年度 第1回依存症治療拠点機関研修（WEB研修）実施報告

10月22日に、松本俊彦先生による研修「近年の精神科医療における依存症の動向ーコロナ禍でおきた依存症全般の変化ー」を開催し、130名の方が参加されました。

コロナ禍で多くの若年者が市販薬の過剰服用に依存していると知り、セルフメディケーションを再考する良い機会になったと共に、情報化社会は時として実在する仲間に頼れない環境を作り、薬物依存を生み出す一因に成り得るのだと考えさせられました。薬物乱用に至るには、虐待や対人関係の悩み、貧困などの背景がありますが、私たち医療者は患者様のメンタルヘルスについてご家族様を含めた支援体制で臨まなくてはならない、そして、臨床現場では苦しんでいる方に対して「まず、どんな言葉を掛けられるか」が求められていると実感しました。

以上